

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	特定非営利活動法人 自然処 児童デイサービス キッズ☆スター		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 30日		～ 2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとにイベントが行われている。</li> <li>保護者やきょうだいも参加できるイベントが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間でイベントの案を出し合っている。</li> <li>イベントの計画など偏った内容にならないようスタッフ間で話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいイベントや利用者にイベントの案を貰うために定期的にアンケートをとるようにしていく。</li> <li>今までイベントに参加したことがない人も参加しやすいようイベント内容を工夫し、普段からコミュニケーションを取り参加しやすい環境にしている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢に応じた支援や活動内容を行っている。</li> <li>担当制ではなく、色んなスタッフと関わりを持てる。</li> <li>空きが出たらすぐにキャンセル待ちの方に連絡をしている。</li> <li>幅広いアイデアを持っている。</li> <li>保護者が見学できるので、子どもの成長が間近で見ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長に合わせ、個別/ペア/グループ等での活動を行っている。</li> <li>社会性が伸ばせるよう、色んなスタッフと関わりを持てるようにしている。</li> <li>連絡する順番や希望の曜日、時間をリスト化している。</li> <li>定期的に研修を行い、スキル向上を目指している。</li> <li>その場で、サポートの仕方や声掛け等を保護者の方に見てもらい、お家でも実践してもらうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動能力が近い子どもや同学年の子どもが隣同士になるように意図的に体操時間を組んでいく。</li> <li>担当ではない時でもコミュニケーションを取っていく。</li> <li>全スタッフが把握できるように見える場所に掲示していく。また、キャンセル待ちの希望曜日の更新がないか確認していく。</li> <li>終わってからのフィードバックではなく、その時その場でお伝えしていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚支援が豊富。</li> <li>掲示物は、子どもや大人の方が見やすいように掲示している。</li> <li>近隣住民の方に事業活動を知ってもらえるよう年中、事業所前にフリーマーケットのスペースを設けている。</li> <li>飛び出し防止の為、事業所前に花壇を設置している。</li> <li>手の届く位置に道具が整理されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具カードや気持ちのカード、声の大きさカード、心と体のメーターカード等、子ども達が選択しやすいようにしている。また直ぐに提示できるよう定位置に設置している。</li> <li>掲示する場所を常に一緒にしている。</li> <li>利用者だけでなく、近隣住民にも知ってもらうために、ポップや旗を見やすいように設置している。</li> <li>花壇の隙間がないよう設置している。</li> <li>手の届く位置に設置していることで子ども達が、自分で片付けまで行えるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続していきます。</li> <li>継続していきます。</li> <li>フリーマーケットを実施していることや毎月のフリーマーケットの売上金(寄付金)、ご寄付のお願い等をHPに記載し、より多くの方々に知ってもらえるようにする。</li> <li>継続していきます。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>その子に合わせた言葉のやりとりを会話の中で共感から入るように心がけている。</li> <li>連絡しやすい環境が整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の意味理解や入れ込み、動きと言葉の一致等のやりとりを確認しながら進めている。また、子どもの話を最後まで聞き、受け取っている。</li> <li>SNSを活用し個人連絡が取りやすいようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間で活動の内容だけでなく、本人の趣味や関心のある事等の情報も共有していく。</li> <li>連絡内容に漏れがないように、伝言やメモに残していく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢が上がるにつれ、運動スペースが狭く感じる。</li> <li>パーティーが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天井が低い。道具がたくさんあり、活動のスペースが狭くなっている。</li> <li>児童発達支援、放課後等デイサービスのガイドラインに沿って必要な部屋の割り振りになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高学年や中高生、又は大人数で活動する時は、室外運動を提案して取り組んだり、使わない大きな道具は室外に移動させたりしている。</li> <li>パーティーが必要であることをご理解して頂くために説明を求められた時はお伝えするようにする。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンセル待ちの方が多く、定期枠がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンセル待ちの方が多くなったため、来年度、新たに事業所をオープンする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズを踏まえて、新店舗とキッズ☆スターのご利用を案内していく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>「今日は行きたくない」「しんどい」等と言い、行き渋りのある子が数名いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動が苦手、嫌いな子が多い。</li> <li>学校行事が続いている、近づいている時に、行き渋りがある子が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体操はあくまでも支援のツールであるため、運動以外にもお話や遊びを提案しながら、社会性の向上を目指していく。</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 児童デイサービス キッズ☆スター

公表日 2026年 1月 31日

利用児童数 2025年 12月 28日 回収数 14名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					継続していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					継続していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					継続していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					継続していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93%			7%		月に1回、スタッフ研修を実施し、専門性や支援の質の向上を目指して行っています。 ご意見やご希望はスタッフに直接お伝えいただくことで、より良い支援につながっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					継続していきます。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					継続していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					継続していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	93%			7%		見学の頻度が少ない方には、月に1回は体操の様子を見て頂けるようにお声がけします。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	79%	7%		14%	運動を指導してくださる先生によって、アイデアに幅があると感じました。	定期的に道具研修を行い、固定概念にとられない道具の使い方を学び合い、スタッフを固定しない事で幅広いアイデアを持って、子どもたちの引き出しを増やしています。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	64%	14%	7%	14%		季節ごとのお祭りや地域の餅つき大会など、地域交流活動があることを、SNSやチラシでもお知らせしていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					継続していきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					継続していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	79%		7%	14%		保護者のペアレント・トレーニングをご希望の方は、面談やトークン月間で実施することも可能ですので、ぜひお申し出ください。  昨年に引き続き、今年も年に3回、1か月間、保護者を対象にスタッフとお話するトークン月間を設けております。  月1回掲示物のお知らせをSNSで配信していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	86%	7%		7%		支援前、後に必ずスタッフ間でミーティングを行い、共通理解する場を設けております。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	71%	14%		14%	不定期利用のため、定期面談はまだ実施できておりません。	全員に年に2回以上の面談の機会を設け、その際には子育てに関する助言等を行っております。その他、ご相談等ございましたら、お気軽にお声掛けください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	93%	7%				見学の頻度が少ない方には、月に1回は体操の様子を見て頂けるようにお声がけします。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	79%				21%	一人っ子的のため	通常のご利用時にはきょうだいが見学したり、一緒に活動できる時間を設けております。きょうだい参加も可能なイベントもあり、交流できる場となっております。きょうだい児のご相談等ございましたら、お気軽にお声掛けください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%						継続していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	86%	14%					保護者様が相談するためのお部屋として奥の保育ルームもご利用いただけますので、ぜひお声掛けください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	93%				7%		イベントのお知らせや活動報告のブログをホームページで配信させていただいております。自己評価の結果も発信予定ですので、ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93%				7%		契約時に、個人情報の取り扱いに関する内容をご説明させていただいております。気になる点がございましたら、スタッフまで申し出ください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	79%			21%			契約時に各種マニュアルの設置をお知らせしておりますが、定期的にSNSでお知らせしていきます。目に入りやすい所に設置して、周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	79%			21%			毎年10月又は11月に災害に備えた訓練を行っています。今後、SNSでもお知らせするようになっていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%						継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86%				14%		事故等発生時には、個々に必ず状況や発生後の対応方法等を説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%						継続していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%						継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	93%	7%				定期の枠が取れず、隔週しか行けていないため	現在、定期的空き枠がないためキャンセル待ちの方の中から曜日等、条件の合う方から順番にお声掛けさせていただいております。隔週でも満足していただけるよう、より質の高い支援を心掛けていきます。

公表

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		児童デイサービス キッズ☆スター		公表日		2026年 1月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物置き棚を設置している。</li> <li>・隣のお友達と触れ合う時間を作っていることでお友達との関わりが増える。</li> <li>・各部屋を効率よく使い分けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に荷物を入れるボックスがあってわかりやすい。</li> <li>・十分なスペースを確保している。しかし、体操というツールの中で考えると、狭いと感じる時もあり、その中でできる事を工夫したり、外運動も積極的に実施したりしていく。</li> </ul>		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	92%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> <li>・マンツーマンで行っている。</li> <li>・特になし。</li> <li>・法令で定められている以上の人員を配置している。</li> <li>・少ないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本マンツーマンだが、サポートの必要な子には適切な数のスタッフが配置されている。</li> <li>・基準以上の職員が配置されている。</li> <li>・1階が手薄になってしまう場合がある。</li> </ul>		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	92%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> <li>・特になし。</li> <li>・お知らせ等子どもや親の目線に合わせて掲示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化に関しては、不可能なところはありますが、可能なところは変更していく。</li> <li>・児童向けの掲示物は下の方、保護者向けの掲示物は上の方に掲示している。</li> <li>・車いすで入室が必要な方の対策として、1階の入り口に斜めの板(スロープ)を用意する。</li> </ul>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが話しやすい環境にしている。</li> <li>・毎日の掃除。</li> <li>・加湿器や冷暖房が常にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日欠かさず掃除し、心地よい環境に努めている。</li> <li>・毎日掃除している。</li> <li>・加湿器や冷暖房の器具(こたつやヒーター)が常備している。</li> </ul>		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	92%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階にクールダウンの部屋がない。</li> <li>・特になし。</li> <li>・保育ルームがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階に関しては、トイレ前のブラインドをおろす事が可能。倉庫を片付けてクールダウンスペースにすることも考える。</li> <li>・普段は保育室となっているが、保育で使う時間が少ないため、その他の時間は個別での対応ができる部屋となっている。</li> </ul>		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	92%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> <li>・毎月研修がある。</li> <li>・TODOリストを使い仕事の進行状況や結果を本人以外も確認できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月研修を実施している。</li> <li>・TODOリストがあることで、各職員が持っている仕事の内容や進行状況を確認することができる。</li> <li>・支援前と後に必ずミーティングの時間を設けており、目標設定と振り返りを共有する時間がある。</li> </ul>		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> <li>・支援会議が複数人で行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からいただいた評価に関しては、個別にフィードバックしている。今後SNSなどにも載せて全体周知していく。</li> <li>・支援会議を複数人で行い、複数の職員がチェックすることで、保護者等の意向等を把握する機会になっている。</li> </ul>		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリアリングができる環境を整えてきている。</li> <li>・毎月研修がある。</li> <li>・始めと終わりにミーティングが行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼が導入され、その日の職員の体や心の調子を確認し、本人に合った仕事内容が振り分けられている。</li> <li>・支援前と後にミーティングの時間を設けており、意見を言ったり共通理解できる機会がある。</li> </ul>		

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	82%	18%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・特になし。</li> <li>・わからない。</li> </ul>	定期的に第三者(理事、第三者委員)などの意見を聞き、改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・研修があるので、できている。</li> <li>・毎月テーマに沿った研修をしている。</li> <li>・月1回研修が行われている。</li> </ul>	法人内で、毎月内容の違った研修を定期的に行っている。外部の研修にも積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・複数人で行われている。</li> </ul>	HP上に掲載している支援プログラムを全体に周知していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・特になし。</li> </ul>	モニタリング、アセスメントを行い評価をしてからスタッフ間で話し合いをしている。保護者の意向を踏まえて作成をし、その後保護者と利用者共に読み上げと確認をしている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分行われていると思います。</li> <li>・みなで、内容をチェックしている。</li> <li>・全員のチェックもある。</li> </ul>	支援会議を必ず複数人で行い、内容を確認してチェックしている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	91%	9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・毎日担当する子どもの支援計画や連絡事項を確認している。</li> <li>・共有はされているが、前回の評価でできていないということがある。</li> </ul>	社員で作成された支援計画は、他のスタッフにもチェックしてもらい、チェック後に作成をしている。また、計画に沿った支援を行うために、毎日のミーティング前に担当する子どもの支援計画を確認していく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> <li>・特になし。</li> </ul>	一般的な社会性や、またその時その場に応じて個別で対応をしている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> <li>・複数人で行われている。</li> </ul>	5領域を含めた目標を含め具体的に支援内容を記載している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・特になし。</li> <li>・イベントの計画など偏った内容にならないようチームで行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動については、個別のため、各指導員が活動のプログラムを常に立案しながら指導を行っている。</li> <li>・イベント等についても社員だけではなく、スタッフ全体に希望のイベント等があれば聞き取りを今後していく。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントが多いので良いです。</li> <li>・特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動プログラムに関しては、個別のため固定化する事は一切ない。本人の希望により内容が固定化する場合はあるが、コミュニケーションや身体など個人に必要なものを取り入れている。</li> <li>・イベントに関しては、内容が同じにならないように、1つは新しい案を取り入れている。</li> </ul>
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・グルーブレッスンが取り入れられている。</li> </ul>	個別活動がスムーズに進み、対人関係の必要性がある利用者に関しては、保護者の同意を得て集団活動への移行を促している。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・毎日ミーティングが行われている。</li> <li>・毎朝ミーティングをしている。</li> <li>・ミーティングの時間はあるが、あまり連携できていないと感じる時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援前にはその日の目標を話し合い、営業時間終了の30分前には終わりのミーティングを行い、担当した利用者の様子や今後の課題を共有している。</li> <li>・ペアレッスンやグルーブレッスンの際には、メインの意図や遊びの内容を事前にサポートをするスタッフに伝えるようにする。</li> </ul>	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・特になし。</li> </ul>	営業時間終了の30分前には終わりのミーティングを行い、担当した利用者の様子や今後の課題を共有している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていると思います。</li> <li>・みなが、情報を共有している。</li> <li>・支援の内容を記録する職員を配置し、担当者の負担を軽減している。</li> <li>・次回確認できるようにコメントに残している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援の記録に関しては、その場で指導する職員とは別にフォローする指導員が記録を行っている。</li> <li>・職員だけが見ることができるコメント欄があり、課題や共有事項が記載されているため、改善につなげられている。</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていると思います。</li> <li>・特になし。</li> <li>・面談を行っている。</li> </ul>	支援計画の聞き取り作成までルーティン化し、漏れがないようには努めている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていると思います。</li> </ul>	管理者、児童発達管理責任者が行くようにしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりません。</li> <li>・特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて必ず参加し、連携を図っている。</li> <li>・理事の間で情報共有している。</li> </ul>
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たぶんできています。</li> <li>・特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の依頼があれば行っている。</li> <li>・園に送迎がない分、情報共有や相互理解を直接行うことは難しく、保護者を通して図っている。</li> </ul>
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていると思います。</li> <li>・特になし。</li> <li>・本人の様子や対応方法等上手くいった方法やそうでなかった方法も含めて書面に記録してお渡ししている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の依頼があれば行っている。</li> <li>・園に送迎がない分、情報共有や相互理解を直接行うことは難しく、保護者を通して図っている。</li> </ul>
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にわかりません。</li> <li>・特になし。</li> <li>・毎月開催される子ども部会に参加している。</li> </ul>	毎月開催されている子ども部会に参加しているため、必要があれば相談することができる。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・特になし。</li> <li>・毎年春祭りイベントを開催し、地域の方にも参加いただいている。</li> </ul>	地域を巻き込み形で春祭りなどのイベントを行っている。昨年度は、地域の餅つき大会にも参加した。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・特になし。</li> <li>・送迎を実施していないため迎え時にお伝えしている。</li> </ul>	送迎がなく保護者の方が送り迎えを行っているため、毎回利用時に活動中や余暇の内容をフィードバックをさせていただいている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1度、面談の時に個別での対応の仕方についてお伝えしている。外部の研修等に関しては室内に掲示をしている。</li> <li>・実施した際にはSNS等でお知らせしていく。</li> </ul>	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・親子で支援内容の確認をしている。</li> </ul>	まずは契約の時に説明を行い、その後プログラムに関しては支援計画の読み合わせと一緒に確認しながらお伝えをしている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々行っていると思います。</li> <li>・特になし。</li> </ul>	支援計画の最終読み合わせを本人と保護者と一緒に行い、確認した上で作成されている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> </ul>	保護者だけでなく、利用者にも直接同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのままいいと思います。</li> <li>・特になし。</li> <li>・相談があれば個別でお話しする場を設けている。</li> </ul>	定期的には半年1度の面談時に行っているが、それ以外は、送迎をしてもらっているため、保護者からの意向があれば行っている。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		・そのままがいいと思います。 ・特になし。	保護者会、お父さんの会等の開催のお知らせを早めにしたたり、参加の有無や日時をGoogleアンケートで回答してもらうことで参加者が増加した。また、お話だけでなく、体を動かすイベントを行い、スポーツを通しての交流の場も設けている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・きちんとできていると思います。 ・特になし。	本人様にはフィードバックをさせていただくようにはしているが、相談と対応については、匿名で今後SNSにアップしていきたいと思う。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・そのままがいいと思います。 ・特になし。	公式LINEにて常に行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・そのままがいいと思います。 ・特になし。	鍵付きの書庫に収納し、毎日鍵を閉めて帰っている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・特にありません。	保護者には、毎回の送迎時に情報伝達をしている。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		・できています。 ・地域の方と触れ合うイベントが開催されている。 ・毎年春祭りイベントを開催し、地域の方にも参加いただいている。	・平日に地域住民を招待すると言う事はなかなか難しいため、イベントにて地域を巻き込みながら行っている。また、こちらから参加することもある。  ・事業所前にフリーマーケットや芋等の販売を行い、利用者の方以外に地域の方々にも見て頂いている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・できています。 ・特になし。	スタッフ、保護者それぞれ見やすい場所に設置する。スタッフに関しては、研修で取り入れている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・できています。 ・特になし。	年に1回は研修で行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	92%	8%	・出来ていると思います。 ・特になし。	・緊急時連絡資料を毎年1回書き換え、そこに状況等を記入していただいている。 ・緊急時連絡先資料の保管場所を全体に周知していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	73%	27%	・そのままがいいと思います。 ・特になし。	食事やおやつ提供がないため、直接医師からの指導ではなく、医師から保護者、保護者から指導員へと伝達していただいている。  ・医師→保護者→指導員へと出来ている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	92%	8%	・色々な予測が必要だと思います。 ・わからない。 ・特になし。	年に1回は研修で行っている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	91%	9%	・わかりません。 ・特になし。 ・わからない。	取り組み内容をSNSを通して、お知らせしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・できています。 ・特になし。	ヒヤリハット、事故報告書は作成後、全スタッフが確認して確認印を押すようにしている。また研修内にてその対策をさらに深めている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・出来ていると思います。 ・特になし。	年に1度、虐待と身体拘束の研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・出来ていると思います。 ・特になし。	・支援計画に記載し保護者に説明を行っている。 ・契約時にも説明をしている。	

公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	特定非営利活動法人 自然処 児童デイサービス キッズ☆スター		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	81名	(回答者数) 81名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 30日		～ 2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとにイベントが行われている。</li> <li>保護者やきょうだいも参加できるイベントが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間でイベントの案を出し合っている。</li> <li>イベントの計画など偏った内容にならないようスタッフ間で話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいイベントや利用者にイベントの案を貰うために定期的にアンケートをとるようにしていく。</li> <li>今までイベントに参加したことがない人も参加しやすいようイベント内容を工夫し、普段からコミュニケーションを取り参加しやすい環境にしている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢に応じた支援や活動内容を行っている。</li> <li>担当制ではなく、色んなスタッフと関わりを持てる。</li> <li>空きが出たらすぐにキャンセル待ちの方に連絡をしている。</li> <li>幅広いアイデアを持っている。</li> <li>保護者が見学できるので、子どもの成長が間近で見ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長に合わせ、個別/ペア/グループ等での活動を行っている。</li> <li>社会性が伸ばせるよう、色んなスタッフと関わりを持てるようにしている。</li> <li>連絡する順番や希望の曜日、時間をリスト化している。</li> <li>定期的に研修を行い、スキル向上を目指している。</li> <li>その場で、サポートの仕方や声掛け等を保護者の方に見てもらい、お家でも実践してもらうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動能力が近い子どもや同学年の子どもが隣同士になるように意図的に体操時間を組んでいく。</li> <li>担当ではない時でもコミュニケーションを取っていく。</li> <li>全スタッフが把握できるように見える場所に掲示していく。また、キャンセル待ちの希望曜日の更新がないか確認していく。</li> <li>終わってからのフィードバックではなく、その時その場でお伝えしていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚支援が豊富。</li> <li>掲示物は、子どもや大人の方が見やすいように掲示している。</li> <li>近隣住民の方に事業活動を知ってもらえるよう年中、事業所前にフリーマーケットのスペースを設けている。</li> <li>飛び出し防止の為、事業所前に花壇を設置している。</li> <li>手の届く位置に道具が整理されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具カードや気持ちのカード、声の大きさカード、心と体のメーターカード等、子ども達が選択しやすいようにしている。また直ぐに提示できるよう定位置に設置している。</li> <li>掲示する場所を常に一緒にしている。</li> <li>利用者だけでなく、近隣住民にも知ってもらうために、ポップや旗を見やすいように設置している。</li> <li>花壇の隙間がないよう設置している。</li> <li>手の届く位置に設置していることで子ども達が、自分で片付けまで行えるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続していきます。</li> <li>継続していきます。</li> <li>フリーマーケットを実施していることや毎月のフリーマーケットの売上金(寄付金)、ご寄付のお願い等をHPに記載し、より多くの方々に知ってもらえるようにする。</li> <li>継続していきます。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>その子に合わせた言葉のやりとりを会話の中で共感から入るように心がけている。</li> <li>連絡しやすい環境が整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の意味理解や入れ込み、動きと言葉の一致等のやりとりを確認しながら進めている。また、子どもの話を最後まで聞き、受け取っている。</li> <li>SNSを活用し個人連絡が取りやすいようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間で活動の内容だけでなく、本人の趣味や関心のある事等の情報も共有していく。</li> <li>連絡内容に漏れがないように、伝言やメモに残していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢が上がるにつれ、運動スペースが狭く感じる。</li> <li>パーティーが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天井が低い。道具がたくさんあり、活動のスペースが狭くなっている。</li> <li>児童発達支援、放課後等デイサービスのガイドラインに沿って必要な部屋の割り振りになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高学年や中高生、又は大人数で活動する時は、室外運動を提案して取り組んだり、使わない大きな道具は室外に移動させたりしている。</li> <li>パーティーが必要であることをご理解して頂くために説明を求められた時はお伝えするようにする。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンセル待ちの方が多く、定期枠がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンセル待ちの方が多くなったため、来年度、新たに事業所をオープンする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズを踏まえて、新店舗とキッズ☆スターのご利用を案内していく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>「今日は行きたくない」「しんどい」等と言い、行き渋りのある子が数名いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動が苦手、嫌いな子が多い。</li> <li>学校行事が続いている、近づいている時に、行き渋りがある子が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体操はあくまでも支援のツールであるため、運動以外にもお話や遊びを提案しながら、社会性の向上を目指していく。</li> </ul>

事業所名	児童デイサービス キッズ☆スター
------	------------------

公表日 2026年1月31日

利用児童数 2025年12月28日 回収数 81名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	5%		1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広くてのびのび活動できている。</li> <li>・室内でのグループ活動は、中学生の場合は人数が多いと窮屈な場面があるかもしれない、と思いました。</li> <li>・満足です。</li> <li>・運動スペースも十分で、数年前に1階の模様替えを行って頂いてからは体操が終わってから子ども達同士のコミュニケーションも増えてきており、ありがたい限りです。</li> <li>・広々としたスペースで活動させていただいています。</li> <li>・身体が大きいので狭く感じる時がある。</li> </ul>	2階でグループレッスンの場合、大人数での体操は狭く感じられると思います。室外での体操を提案し、また、グループレッスンでも室外での運動が可能ですので、お申し出いただければと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	94%	2%		4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分配置されており、安心している。</li> <li>・満足です。</li> <li>・利用者からみても余裕をもった運営をして頂いているかと思います。※日々、色々なイベントを計画頂けているのもその裏返しと感じています。ありがとうございます。</li> <li>・いつも手厚くみていただいています。</li> <li>・いつも親身に見てくださり、大変助かっております。ありがとうございます。</li> </ul>	連絡事項など混雑時は対応が難しいですが、受付カウンターに紙とペンを設置した事で、連絡漏れのない対策ができました。今後も継続していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	98%	2%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・手の届く位置に遊具が整理されており、自分で片付けまでさせてくださるところが良い。</li> <li>・わかりやすいです。</li> <li>・上述の通り、模様替え以降は特に良い環境になっているかと思います。</li> <li>・ちゃんと創意工夫がなされており、保護者目線で見てもわかりやすい構造か感じております。また好奇心を育むような工夫もなされており、大変ありがたいです。</li> <li>・段差やパーテーションが多いと感じますが、やむを得ないと思います。</li> </ul>	鋭利な角や段差にはスポンジ等で保護するように努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	99%	1%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・良く工夫して下さっています。</li> <li>・上述の通り、模様替え以降は特に良い環境になっているかと思います。</li> <li>・いつも清潔で綺麗な空間だと感じております。</li> </ul>	毎日整理整頓、掃除を行っております。また、夏は冷房や扇風機、冬は暖房器具等を常備しております。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95%	4%	1%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別レッスンのデメリットとして、担当する人によって、うちの子どもの特性を理解していない人もあり、支援の差がある。相性を配慮してもらえると助かります。</li> <li>・全職員が特性を理解してくださっていると感じる。</li> <li>・個別運動やグループレッスンでどんな動作や運動が苦手で、どう向上させていくかの指導もあってほしいです。逆に得意なことを伸ばしていく指導もあっていいと思います。</li> <li>・満足です。</li> <li>・半年の一度の保護者面談もあり、利用者側の事情を詳しく理解頂けているかと思えます。※細かい話ですが、学校での出来事や趣味の話題なども含め、先生方とお話するのがとても楽しい様子です。</li> <li>・十分に理解していただき、色々配慮していただいています。</li> <li>・本人の特性に合った対策を練ってくださるので、大変ありがたく思います。親身になってくださっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見やご希望は直接スタッフにお伝えして頂く事で、技術も心も向上させることができます。どうぞよろしくお願いたします。</li> <li>・月に1度、スタッフ研修を実施し、専門性や質の向上を目指し行っています。</li> <li>・支援前と後に必ずミーティングで課題や支援目標について共通理解をしています。</li> </ul>
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・充分です。</li> <li>・運動面、社会性やコミュニケーション能力など、記載内容と合致したプログラムがなされていると思います。</li> <li>・オープンに開示されていると感じております。</li> </ul>	継続していきます。

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	99%			1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足です。</li> <li>・しっかり作成頂けていると思います。意図されての事かどうかは分かりませんが、毎回異なる先生に対応頂けており、娘への理解が特定の先生に偏る事も無いため、保護者としては安心感があります。</li> <li>・十分に理解し、作成されていると思います。</li> </ul>	毎回異なる指導員と体操や関わりを持つことで、社会性を身につけるために支援を行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%	1%		2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充分です。</li> <li>・支援計画に適切に盛り込んで頂けているものと思います。</li> </ul>	本人支援は支援計画にも記載している5領域を含めた子供に必要な支援を考え目標にしています。また、それら取り入れながら支援しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・充分です。</li> <li>・行われていると思います。学年が上がると、体操後のフィードバックも自主性や協調性に関する話題が多くなっており、それだけ娘の成長に応じた支援を行って頂けていると感じています。</li> </ul>	継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足です。</li> <li>・外での活動を取り入れて頂く等、工夫して頂いていると思います。願わくばですが、お題を決める→ペアで話し合う→自分の意見をまとめる→発表する、といった、プレゼンテーション的な機会があれば、先述の協調性やコミュニケーション力といった観点で、より本人にとっての成長が期待出来ると思います。</li> <li>・支援活動の中で創意工夫が、常になされておられ、イベントも多いと感じています。逆に保護者が仕事で忙しいので、なかなか参加できず、申し訳なく思います。</li> </ul>	子ども達が発言したり、お友達同士で話し合う時間や機会等を取り入れていきます。ペアやグループレッスンの中で、個の成長に合わせてそれぞれのグループレッスンのメンバーによって異なるコミュニケーションの取り方の練習をしています。(相談やリーダーを決める等)
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	47%	16%	9%	28%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したことはありませんが、近隣公園での祭りイベント開催などで地域の他の子どもと触れ合えていると思います。</li> <li>・不定期契約なのでその機会はわかりません。</li> <li>・よく工夫して下さいます。</li> <li>・児童館との交流はありませんが、外との交流という所では描画教室に通っており、他行の生徒と接する機会が一定量あります。</li> </ul>	春祭りイベントが地域交流活動であることを皆様にご理解いただけるよう、チラシや公式LINEのお知らせ等に明記しております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96%	1%		2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充分です。</li> <li>・変更が生じる場合も含め、丁寧に説明頂けているかと思っています。</li> <li>・丁寧に説明していただきました。</li> <li>・いつも丁寧に説明して下さいますので、大変わかりやすいです。</li> </ul>	契約時に説明させていただいており、気になる点がございましたらスタッフまでお申し出ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足です。</li> <li>・保護者面談時も含め、都度、丁寧に説明頂けているかと思っています。</li> </ul>	継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	90%	4%		6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足です。</li> <li>・ペアレントトレーニングがある事で、同世代の友達との関わりや距離感を気にして過ごせることが出来て良い。</li> <li>・トークン月間や、貼り紙で告知頂いているセミナーなど、沢山の機会を頂けているかと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングに関しては、子どもは体操中に行っております。ぜひご見学をいただくと嬉しいです。</li> <li>また、保護者のペアレントトレーニングをご希望の方は、面談やトークン月間で実施することも可能ですのでお申し出ください。</li> <li>・今年度も年に3回、保護者を対象に個別でスタッフとお話しをするトークン月間を設けました。</li> <li>好評でしたので、来年度も継続していきます。</li> </ul>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	93%	5%		2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後にきちんと子どもの様子や課題を伝えていただける。</li> <li>・利用回数が月1程度なので、共有機会は少ないのは仕方ないかなと思います。</li> <li>・充分です。</li> <li>・体操後の時間も毎度、丁寧にフィードバック頂けており、目下半年に1度の保護者面談もあり、先生方とのコミュニケーション機会を多く頂けている為、共通理解が出来ているものと思います。</li> <li>・こちらの話を詳しく聞いてくださり、子どもの状況について理解を深めてくださっています。</li> </ul>	体操後にフィードバックすると共にその日の様子等を記入した指導記録を、翌月にお渡ししています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	98%		2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充分です。</li> <li>・ 上述の通り、沢山の機会もあり、十分に持って頂けているかと思えます。</li> <li>・ 悩みに対して的確な意見をいただけていて、子どもと接する上で、とてもためになっています。</li> </ul>	<p>送迎のある方は、その都度お話をさせていただく時間を設けていただいております。</p> <p>また、全員に年2回以上の面談の機会を設け、その際には子育てに関する助言等を行っております。</p>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	94%	4%	2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの課題に合わせた言葉のやりとりをわかりやすく伝えてくれて、感謝しています。</li> <li>・ 共感的に支援していただいている職員さんが大多数です。</li> <li>・ どの先生も共感的である。</li> <li>・ 満足です。</li> <li>・ 思います。何か指導事項があった時も、先ずは共感から入って頂けていると思えます。</li> <li>・ いつも気軽に声をかけてくださり、とても話しやすいです。</li> </ul>	<p>保護者のご意見やご要望をスタッフ間で共通理解し、その子の課題に対する必要な支援をお伝えし、確認していただいた上で、行っています。</p>
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	90%	2%	7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加はできてないが、休日に多種イベントが多いと思えます。利用日に季節の行事イベント、例えばクリスマスにちなんだ遊びや運動を取り入れてもいいのではと思えます。</li> <li>・ 充分です。</li> <li>・ ボーリング大会や音楽フェスなど、保護者同士の交流にも繋がるイベントを沢山企画頂けていると思えます。</li> <li>・ 他の事業所よりも保護者の方とお話しできる機会が多いので、嬉しいです。</li> </ul>	<p>・ 通常のご利用の時に兄弟が見学されているときは一緒に実施できる時間を設けています。</p> <p>また、ご家族の方からの申し出により、兄弟の相談を受けております。</p> <p>イベントに関しては、兄弟参加も可能なものもございますので、お知らせにわかりやすく明記すると共に参加の有無をお聞きしております。</p> <p>・ 日々支援計画に沿った支援を行っている為、季節の行事を利用日に取り入れる事は難しいですが、今後色々な方法を検討していきたいと思えます。</p> <p>・ 保護者イベント等も開催し、保護者の方同士の交流する機会を設けております。</p>
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	95%	1%	4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 満足です。</li> <li>・ されていると思えますし、何か相談をした時に臆ろにされていると感じたような事はありません。</li> <li>・ 予定変更でキャンセルの連絡の受付をラインでもしてほしい。仕事で営業時間内に電話連絡することが難しいため。</li> </ul>	<p>ラインでの予約変更、キャンセルのご連絡は見落とし場合がございますので、お電話でのご連絡とさせて頂いております。営業時間内にご連絡が難しい場合は、留守番電話にメッセージを残して頂ければと思います。よろしくお願いたします。</p>
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	98%	1%	1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充分です。</li> <li>・ されていると思えます。何かあればライン等でのやり取りも可能であり、柔軟な情報伝達も相互出来ているかと思えます。</li> <li>・ 子供の活動を側で見守ることができるので、様子が分かりやすいです。</li> </ul>	<p>実際に支援を行っている様子をご見学頂いたり、情報伝達がしやすいようにラインでのやり取りも行っております。</p>
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	98%	1%	1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラインでイベントや予約時間のお知らせをしてくれるのでとてもわかりやすいです。</li> <li>・ 充分です。</li> <li>・ ラインやウェブサイトにて十分に発信頂けているかと思えます。</li> </ul>	<p>予約やイベント参加の有無をラインでやり取りする事でいつでも確認する事ができます。</p>
非常時等の	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	90%	1%	9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充分です。</li> <li>・ されていると思えます。</li> </ul>	<p>契約時に、個人情報の取扱いに関する内容をご説明させていただいております。気になる点がございましたらスタッフまでお申し出ください。毎日鍵をして、書庫に保管しております。</p>
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	77%	4%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よく配慮くださっています。</li> <li>・ 定期的な非難訓練もあり、且つ事業所の出入り口も子ども達が飛び出さないような設計になっており、安全面は確保されていると思えます。</li> </ul>	<p>契約時に各種マニュアルの設置をお知らせしておりますが、定期的にSNSでお知らせしていきます。</p> <p>目に入りやすい所に設置し、周知していきます。</p>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	90%	1%	9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練に参加させてもらいました。</li> <li>・ 上述の通り、実施されていると思えます。</li> </ul>	<p>毎年10月又は11月に災害に備えた訓練を行っています。今後、SNSでもお知らせするようになっていきます。</p>
25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	90%	5%	5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 満足です。</li> <li>・ 上述の通り、実施されていると思えます。</li> </ul>	<p>月1回の研修で職員間で子どもの安全を確保するための計画を周知しております。</p>	

対応	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	80%	1%	19%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのような経験がないですが、きっとしっかりされていると思います。</li> <li>・先日の水鉄砲バトルの際も、娘が体力を消耗した際に事業所で休ませていただく等、柔軟に対応頂いており、目付保護者への連絡共有も十分に行って頂いていると思います。</li> <li>・幸い怪我などがなかったため、わかりません。</li> </ul>	個々には必ず説明させていただいております。ヒヤリハットや事故報告書として、今後皆様にもSNS等でお知らせするようにします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	96%	4%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安と言う事が全くなく期待感をもって活動できています。</li> <li>・親も安心しています。</li> <li>・ヘアと一緒に体操を頑張っているお友達や先生方と会えるのが楽しみに感じてもらえているようで、それが安心感に繋がっているものと思います。</li> <li>・いつも楽しいと言って通っています。ありがとうございます。</li> </ul>	継続していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91%	7%	1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループレッスンをいつも楽しみにしています。</li> <li>・事業所さんがどうこうではなく、本人の気持ちです。学校帰ってきてから疲れるからなどです。</li> <li>・特にグループ活動の日は何日も前から楽しみにしている。</li> <li>・毎回随分そうに行く準備をします。</li> <li>・はいとでも。</li> <li>・上述の通り、楽しく通わせて頂いていると思います。</li> <li>・少しずつ慣れてきて、笑顔も見られるようになっていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続していきます。</li> <li>・通所を楽しみにしてもらえよう支援内容に工夫を加えながら支援していきます。</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	96%	2%	1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に満足しています。いつも有難うございます。何卒、今後共、宜しくお願い申し上げます。</li> <li>・はいにしたかったのですが、なぜかエラーになってできなかったため、わからないになりました。</li> <li>・イベントなどの参加の場合、集合場所の名前だけでなく地図もつけてもらえたらもっとわかりやすいです。</li> <li>・いつも温かいご支援ありがとうございます。</li> <li>・助けてもらいできることもたくさん増えて、何より楽しみながら自己肯定感もとても強めてもらっています。ありがとうございます。</li> <li>・支援内容はもちろん、療育環境や行事ごとについても、もっと良くなるようにと常に改善されている様子が見て取れ、大変ありがたくおもっています。</li> </ul> <p>例えば今年から予約のシステムも以前の電話予約ではなく、自動で予約が取れ、変更がある時のみ連絡をするというシステムに変わりました。このようなことも利用者にとっては大変ありがたい改善です。療育については、ほとんどのデイサービスでは子供の様子を見る事ができず、具体的にどのような支援をしていたらいい、どのように過ごしているかということがよくわからないのですが、キッズ☆スターさんでは、保護者が見学することがデフォルトとなっているため、先生方の関わり方から療育内容、子どもの成長過程まで幅広く把握することができるので大変ありがたいです。保護者の目があるというのは、先生方にとっては、やりにくい場面もあるかとは思いますが、それでもどうぞ保護者も見てくださいという体制はやはり療育内容についての自信の表れかと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>	イベントの詳細につきましては、集合場所の名前、URLで地図の記載等をして明確にしています。

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	児童デイサービス キッズ☆スター		公表日		2026年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・子どもたちの成長もあり、少し手狭に感じることもある。	利用定員10名に対し、十分な支援スペースを確保している。 しかし、体操というツールの中で考えると、スペースだけで言えば狭い場合もあり、その中でできることや、また外運動の活用など実施していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	92%	8%	・少ないと思う。 ・特になし。 ・法令で決められている以上の人員を配置している。	職員配置に関しては満たしている。 ただ、個別ということもあり、他の事業所とは違い、1人の指導員が2、3人を見ることができずコスパが悪いのは否めない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	92%	8%	・お知らせなど子どもや親の目線に合わせて掲示している。	児童に必要なものは目線に掲示しており、保護者向けのものは上部にあげています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・特になし。	継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	92%	8%	・特になし。	建物の構造上全くの個室でクールダウンの部屋として使用することは難しいが、必要に応じて保育の部屋やトイレ前を使用する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・特になし。 ・TODOリストを使い仕事の進行状況や結果を本人以外も確認できるようにしている。	仕事の進捗状況等自分自身も他のスタッフも確認、把握する事ができている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・特になし。	継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・毎年個々に面談を行い、困っている事等を確認して対策やアドバイスをを行っている。	職員が意見を言いやすい、職場に努めている。 その意見にはフィードバックをするようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	・特になし。	定期的には、第三者(理事、第三者委員)などの意見を聞き改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・毎月テーマに沿って研修をしている。	法人内での研修は法令で定められた研修以外にも、定期的にテーマを決めて行っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・特になし。	HP上に掲載している支援プログラムを全体に周知していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・特になし。	モニタリング、アセスメントを行い評価をしてからスタッフ間で話し合いをしている。保護者の意向を踏まえて作成をし、その後保護者と利用者ともに読み上げと確認をしている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・特になし。	基本的に社員で会議を毎日開き作成しており、スタッフ間で内容を確認し、共有している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・毎日担当する子どもの支援計画や連絡事項を確認している。	社員で作成された支援計画は、他のスタッフにもチェックをしてもらい、チェック後に作成をしている。 また、計画に沿った支援を行うために、毎日のミーティング前にそれを確認するようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・特になし。	一般的な社会性や、またその時その場に応じた個別での対応をしている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・定期的に季節に応じたイベントが行われている。	5領域を含めた目標を含め、具体的に支援内容を記載している。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	92%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの計画など負担が偏らないようチームで行っている。</li> <li>・子どもたちと同じ場で知る事がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等について、社員だけではなく、スタッフ全体に希望のイベント等があれば聞き取りをしている。</li> <li>・ミーティング時に共有していく。</li> <li>・ペアレッスンやグループレッスンの際には、メインで担当するスタッフの意図や遊びの内容を事前にサポートするスタッフに伝えるようにする。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・特になし。	日々の活動プログラムに関しては、個別のため固定化する事は一切ない。本人の希望により内容が固定化する場合があるが、コミュニケーションや身体など個人に必要なものを取り入れている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・特になし。	個別活動がスムーズに進み、対人関係の必要性がある利用者に関しては、保護者の同意を得て集団活動への移行を促している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	92%	8%	・毎朝ミーティングをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日職員の健康チェックを行っている。</li> <li>また、毎日利用者が来る30分前にはミーティングを行っている。</li> <li>・ペアやグループレッスンの際には、メインで担当するスタッフの意図や遊びの内容を事前にサポートするスタッフに伝えるようにする。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・毎日就業後にミーティングを行い、支援の中で不安を感じたことや分からなかったことを相談する場を設けている。	営業時間終了の30分前には終わりのミーティングを行い、担当した利用者の様子や今後の課題を共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・特になし。	日々の支援の記録に関しては、その場で指導する職員とは別にフォローする指導員が記録を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・特になし。	半年に1回面談を行い、保護者の意向や聞き取りで聞いた内容で作成している。聞き取りで漏れがないように努めている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%		・特になし。	個々のニーズに合った支援を行っている。また保護者からの子供に関する相談なども常に対応している。個々に合わせて、保護者や子供の意見を聞きながら、意向への支援も行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・様々な場面で子ども自身が決定できるような質問したり、選択肢を出したりしている。	常に自己決定、意思決定できるようにプログラムを考えている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・特になし。	管理者、児童発達管理責任者が行くようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じては必ず参加し、連携を図っている。</li> <li>・理事間で情報の共有をしている。</li> </ul>
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	17%	・わからない。	送迎を行っていないため、学校等とは特に直接連携はとっていないが、保護者との連携に努めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学先にはしている。</li> <li>・わからない。</li> </ul>	保護者の依頼があれば行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	92%	8%	・本人の様子や対応方法等上手くいった方法やそうでなかった方法も含めて書面に記録して渡している。	卒業生に関しては、卒業後も子どもだけでなく、保護者の方とも関わりをもつ機会を設けている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	92%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はない。</li> <li>・毎月子ども部会に参加しているため必要があれば相談できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の児童発達支援センターとの連携は取れていない。取り方もわからない。</li> <li>・子ども部会で得た情報等を社内研修で情報共有している。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	92%	8%	・毎年春祭りイベントを開催し、地域の方にも参加いただいている。	地域を巻き込む形で春祭りなどのイベントを行っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	92%	8%	・毎月職員が参加している。	明石市は子ども部会での会議が月に1回実施しているため、毎回参加はしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・特になし。	送迎が保護者のため、毎回フィードバックをさせていただいている。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	92%	8%	・特になし。	・半年に1度。面談の時に個別での対応の仕方についてはお伝えはしている。外部の研修等に関しては室内に掲示をしている。 ・お知らせしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・特になし。	契約の時に説明を行い、その後プログラムに関しては支援計画の読み合わせを確認しながらお伝えしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・特になし。	半年に1回実施している面談時に行っている。又、保護者から相談等があれば対応している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・特になし。	保護者だけでなく、利用者にも直接同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・相談があれば個別でお話しする場を設けている。	定期的には半年に1度の面談時に行っているが、それ以外は、送迎をしてもらっているため、保護者からの意向があれば行っている。また、年に3回トーキング月間を開催し、保護者からの依頼があれば行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%		・特になし。	保護者会、お父さんの会等のお知らせを早めにする事や参加できる日時の有無をGoogleアンケートで回答してもらって参加者が増加した。また、お話しだけでなく体を動かすイベントを行い、スポーツを通して交流の場を設けている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・特になし。	本人様にはフィードバックをさせていただくようにはしているが、今後SNSにアップしていきたいと思う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・特になし。	公式LINEにてHPで掲載しているお知らせの更新を随時発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・特になし。	鍵付きの書庫に収納し、毎日鍵を開けて帰っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・特になし。	保護者には、毎回の送迎事に情報を伝達している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	92%	8%	・毎年春祭りイベントを開催し、地域の方にも参加いただいている。 ・わからない。	・平日に地域住民を招待すると言う事はなかなか難しいため、イベントにて地域を巻き込みながら行っている。 ・地域が開催するイベントに、こちらから参加することもある。 ・事業所前にフリーマーケットや芋等の販売を行い、利用者の方以外に地域の方々にも見て頂いている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・特になし。	スタッフや保護者がそれぞれ見やすい場所にマニュアルファイルを設置する。 職員に関しては、研修で取り入れている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・特になし。	年に1回研修で行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	92%	8%	・特になし。	緊急時連絡資料を毎年1回書き換え、そこに状況等を記入していただいている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	・特になし。	・食事やおやつ提供がないため、直接医師からの指導ではなく、医師から保護者、保護者から指導員へと伝達はいただいている。 ・医師→保護者→指導員へと伝達出来ている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	92%	8%	・特になし。	年に1回の研修で行っている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・特になし。	安全計画に基づく取組内容について、お知らせしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・特になし。	ヒヤリハット、事故報告書は作成後、全スタッフで確認して確認印を押すようにしている。また研修内にその対策をさらに深めていっている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・特になし。	年に1度、虐待と身体拘束の研修を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・特になし。	支援計画に記載し保護者には説明を行っている。

公表

## 事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	特定非営利活動法人 自然処 保育所園・学校等訪問支援 リレーションシップ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 30日		～ 2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 5日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合った支援ができる。	開始前の会議で、アセスメントにより保護者、並びに本人との意思確認をしている。	受け入れ先の園や学校との会議も開始前に行うことで相互関係を良好にしていく。
2	学校や園、家庭、又は児童発達支援、放課後等デイサービスとの連携が取れる。	会議を行うことで、各所での困りごとを理解し、課題を見つけやすい。	学校や園との話し合いの場が取れなくても、報告書や少しの会話、FAX、電話での相互理解を深める。
3	同法人の別事業所を利用している方を対象としている為、個人への理解がある。	事業所でのうまくいった所、いかなかった所等をお伝えすることができる。	相手側への感謝とリスペクトを図り、相互関係を良くすることで、対象児のことをより良く考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実績が浅い。	2025年6月に開所した為、まだまだ実績（利用者数や訪問数）は少ない。	誰でもではなく、必要と思われる方への声掛けと1つ1つ確実に進めていく。
2	開始前の会議の実施。	開始前の会議等、実際に支援するまでの流れを知らない相談支援員さんが多く、説明して実施していく。	市に掛け合い、保育所等訪問の流れやルール等を確認したり、他の事業所とのシェアの場を設けたりしていく。
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名		保育所・学校等訪問支援 リレーションシップ		公表日		2026年 1月 31日		利用児童数		2025年 12月 28日		回収数 4名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	50%			50%		園生活の支援になる為、特別なものは ないですが、タイマーや視覚支援的なもの を持って行きます。					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	50%			50%		面談室はございますが、短い話などはそ の場でさせて頂いております。（個別の 事業所なので、人も限られている為）					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					継続していきます。					
適切 な支 援の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職権や人数）体制だと思いますか。	100%					継続していきます。					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	75%	25%				1回目に行かせて頂いた後、訪問先の先生 とお話をして、今後の課題の共有をして 計画にしております。					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%					継続していきます。					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					継続していきます。					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					継続していきます。					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	75%			25%		訪問後の様子の報告書をお渡しするだけ でなく、やり方や仕方をお伝えする機会 をつくります。					
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					継続していきます。					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					継続していきます。					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	75%			25%		少しの時間でも作って頂いております。 訪問前に①訪問後②TEL③日を改めての 放課後と選択肢で回答してもらっていま す。					
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%					継続していきます。						
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%					継続していきます。					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	75%			25%		今後訪問先に確認し、支援計画に反映し ていきます。					
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					継続していきます。					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%					継続していきます。					
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%					継続していきます。					

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名

公表日 2026年 1月 31日

保育所園・学校等訪問支援 リレーションシップ

利用児童数 2025年 12月 28日 回収数 4名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	75%		25%		いいえの訪問先に関しては、この事業の意味理解がこちらの説明不足で、出来ておらず申し訳ありませんでした。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	75%		25%		いいえの訪問先に関しては、この事業の意味理解がこちらの説明不足で、出来ておらず申し訳ありませんでした。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	50%	25%	25%		いいえの訪問先に関しては、この事業の意味理解がこちらの説明不足で、出来ておらず申し訳ありませんでした。質問を明確に聞き取りをしていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	50%	25%	25%		いいえの訪問先に関しては、この事業の意味理解がこちらの説明不足で、出来ておらず申し訳ありませんでした。療育先では、出来ることが増えてきていますので、集団でも出来るように繰り返していきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	75%		25%		いいえの訪問先に関しては、この事業の意味理解がこちらの説明不足で、出来ておらず申し訳ありませんでした。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問後の報告書でいつもご丁寧に記録していただき、ありがとうございます。園と施設で連携を取り、本児が安心して生活を送っていただけるようにしていきたいです。</li> <li>・本児の集団生活での課題が共通理解出来て良かったです。ありがとうございました。</li> <li>・療育と保育は基本的に違うので、今回は参考になりませんでした。訪問中、対象児に支援のため声をかける等は控えてほしい。</li> <li>・普段、体育等の授業は担任がなかなか、付き添えないため、子どもの様子を詳しく教えていただけたり、具体的な支援の方法を伝えてもらったのは、非常にありがたいです。今後ともよろしくお願いたします。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいえ」のご回答に関しては今後、理解して頂けるよう、再度お時間を取って頂き説明をしていきます。</li> <li>・「どちらともいいない」のご回答の方には、次回訪問した時に療育先での様子などもお知らせできるようにさせていただきます。</li> <li>・ただ様子を見るだけでなく学校や園での課題を明確にし、療育先や学校、園、又は家庭で共通理解し、取り組めることがこの事業の強みだと思っております。少しでもお役に立てるようにして参ります。</li> </ul>	

公表

## 事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		公表日				
保育所園・学校等訪問支援 リレーションシップ		2026年 1月 31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	100%			継続していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			継続していきます。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	100%		・報告書を職員全員が目を通して確認している。	継続していきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	100%			継続していきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	100%		・ミーティングの中で情報を共有している。 ・なし。	継続していきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	50%	50%		各療育先への報告書提出により、何かあれば 連絡をしてもらうようにします。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	100%			継続していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	100%		・親はもちろん子ども自身に、訪問時どのよ うに対応してほしいのか意見を聞いている。	継続していきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			継続していきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	50%	50%		園など事前会議がある時は盛り込み、ない時 は、1回目の様子を見てからその後のフィード バックにて話を聞き、入れさせて頂いていま す。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%			継続していきます。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			継続していきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	100%			継続していきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%			継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	100%			継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			継続していきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	100%			継続していきます。

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%		・情報をイメージしやすいよう時系列に沿って記録している。	継続していきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			継続していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			継続していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			継続していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	・所内での様子や対応等をまとめて移行先に提出している。	必要があれば行いが、今の所はない。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%			継続していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%			継続していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			継続していきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			継続していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			継続していきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%			継続していきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			継続していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%			継続していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%			継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%			継続していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			継続していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			継続していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			継続していきます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			継続していきます。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			継続していきます。

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%			継続していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%			継続していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			継続していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			継続していきます。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			継続していきます。
非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%		今後施設側に連絡し、支援計画に入れていきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			継続していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			継続していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			継続していきます。